



国際

沿岸レポート

## 濱口梧陵国際賞 授賞式

一般財団法人沿岸技術研究センター  
研究主幹 高野 誠紀

わが国の津波防災の日である11月5日が、2015年12月の国連総会において「世界津波の日」に制定されました。これを機に、国土交通省、内閣府政策統括官（防災担当）等の皆様からのご後援をいただき2016年創設された「濱口梧陵国際賞」は、津波防災をはじめとする沿岸防災技術分野で顕著な功績を挙げた国内外の個人又は団体を表彰するものです。

第3回目となる今回の受賞者は、沿岸災害の減災において津

波・高潮や不規則波浪に関する研究に貢献した間瀬肇京都大学名誉教授兼特任教授、陸上に遡上する津波の複雑な現象の究明と世界各地の津波災害の現地調査によりその実態の解明に貢献したHarry Yeh米国オレゴン州立大学教授、及び南海トラフの地殻活動を大規模かつ高精度に観測する世界で初めての地震・津波観測監視システム（DONET）を構築したDONET開発グループ（代表；金田義行 海洋開発研究機構首席技術研究員／香川大学地域強靱化研究センター長）の2名1団体です。

授賞式は、11月7日（水）に海運クラブにて開催され、塚田国土交通副大臣、二階自民党幹事長／国土強靱化推進本部長より来賓のご祝辞、濱口梧陵国際賞選考委員会の河田恵昭委員長（京都大学名誉教授／関西大学教授／人と防災未来センター所長）による受賞者と受賞理由のご紹介の後、塚田国土交通副大臣から受賞者の皆様に表彰盾が贈呈されました。

授賞式とそれに引き続き行われた記念講演会、レセプションには、二階自民党幹事長をはじめ国会議員の皆様、在日チリ共和国大使館、在日米国外務館、濱口梧陵氏ゆかりの地の和歌山県広川町長、濱口家のご子孫の濱口道雄様の他、多くのご来賓にご臨席をいただきました。

(※)濱口梧陵氏は、150年ほど前の江戸時代末期の安政南海地震で自らの資産を投げ打ち村人の命を津波から守った人物。



間瀬教授



Yeh教授



金田代表



授賞式